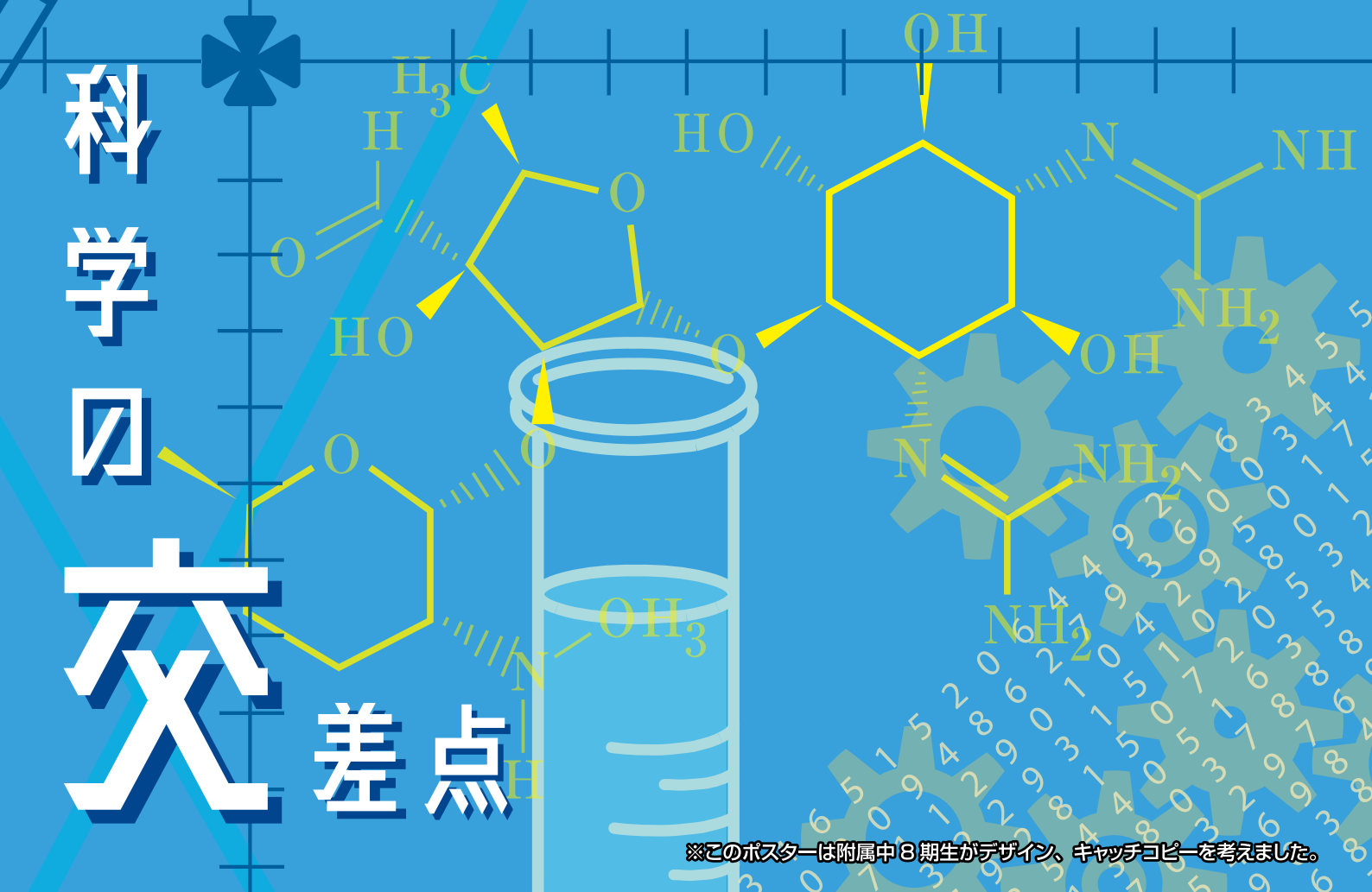
未来を創る

横浜市立
横浜サイエンスフロンティア
高等学校附属中学校

学校案内 令和９年度 入学生用

科学の交差点



※このポスターは附属中８期生がデザイン、キャッチコピーを考えました。

校長あいさつ



校長　藤本　貴也



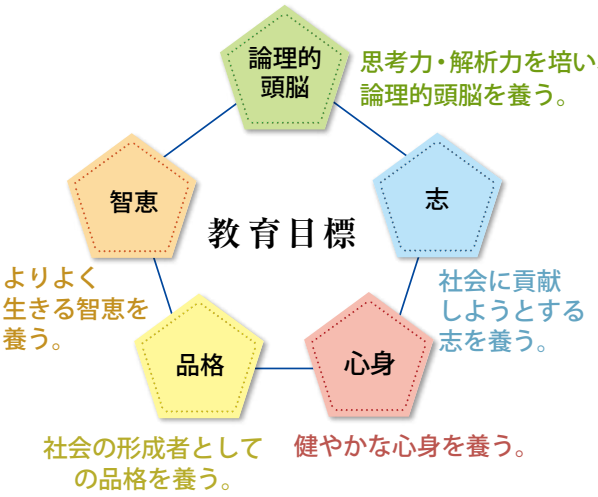
平成29年４月に横浜サイエンスフロンティア高等学校の附属中学校として開校した本校は、本年４月に第10期の新入生を迎えました。学問を広く学ぼうとする精神と態度を培い、豊かな社会性や人間性の涵養とともに、「サイエンスの考え方」の素養を育み、世界で活躍できる人材の育成を目指して教育活動を実践しています。本校を卒業する皆さんには、新たな時代を切り拓く担い手として、横浜、日本、さらには国際社会をけん引し、様々な場面で社会に貢献することが期待されています。これは、「横浜教育ビジョン2030」に示されている横浜の教育が目指す人づくり「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」を、本校の特色を生かして実現するものです。

中学校においては、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図りながら、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を相互に関連付け、バランスよく育成します。そして、中高６年間の学びを通して、これらの資質・能力を着実に伸ばしていきます。

本校には、自らの「好き」を探究し、挑戦する意欲あふれる生徒が集っています。近年では、「第４回天文学オリンピック」や「第47回モデルロケット全国大会」、「ロケット甲子園2025」、「NHK杯全国中学校放送コンテスト全国大会」など、多様な分野の全国規模の大会に出場し、日頃の学びの成果を発揮しています。受賞には至らなかったとしても、様々な挑戦を通して大きく成長した生徒たちがいます。歴史はまだ浅いものの、科学分野にとどまらず、幅広い分野で仲間と切磋琢磨しながら高め合う風土が本校にはあります。

ともに学び、ともに成長しながら、自らの可能性を広げていこうとする皆さんの挑戦を、心より歓迎します。

教育目標



(1) 広い視野、高い視点、多面的な見方を身に付けさせ、ものごとに対する柔軟な思考力・解析力を培い、論理的頭脳を養う。

(2) 旺盛な探究力、豊かな創造力、世界に通じるコミュニケーション能力、自立力を培うことによって、よりよく生きる智恵を養う。

(3) 社会における己の使命を自覚し、積極的に社会に貢献しようとする志を養う。

(4) 人格を陶冶し、社会の形成者としての品格を養う。

(5) 幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養う。

育てる生徒像



(1) 「サイエンスの考え方」※を身に付けた生徒

(2) 豊かな社会性や人間性を身に付けた生徒

(3) 次代を担うグローバルリーダーの素養を身に付けた生徒





※サイエンスの考え方…サイエンスを学ぶことによって培われる考え方。正確な観察や実験、体験、情報の整理・分析などを合理的・総合的に進める「サイエンスの考え方」は、科学のみならず、様々なものの考え方の基本につながる。

中高一貫教育校化の考え方

附属中学校から進学する生徒と高校から入学する生徒が融合することにより、互いに大きな刺激となり相乗効果が生まれる。

生徒一人ひとりの潜在的な独創性が開花する。







Basic 基盤形成期（中学校１～３年）

心も体も大きく成長します。
質の高い体験や豊かな感動を仲間とともに経験し、科学の楽しさや知る喜びに気付きます。

●充実した施設や高度な実験機器の体験による科学への興味・関心・意欲の向上
●先取りではなく、深化させる学習の実施
●課題探究力の基盤となるサイエンススタディーズの実施

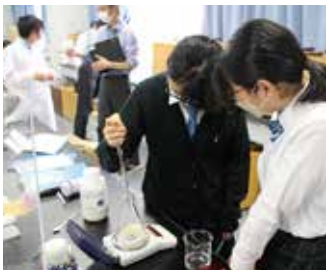
Progress 充実発展期（高等学校１～３年次）

附属中学校から進学する生徒と高校から入学する生徒が共に学びます。
互いに切磋琢磨し、バランスの良い融合により、潜在的な独創性を引き出します。

●知識と智恵のサイクルによる学びの充実
●サイエンスリテラシーによる課題探究プログラムの実施
●社会貢献活動と「夢のある進路希望」の実現

※サイエンスエリート…次世代の日本を担う使命感を持ち、科学的リテラシーを身に付け、物事をやり通す強い精神力や活動の源である体力を備えた国際社会で活躍する人材。

特色ある教育課程





●国語・数学・理科・英語の授業時数を増やし、豊かな学びを進めます。（中学校３年間で国語と数学は140時間、英語は105時間、理科は35時間を標準の授業時数より多く学びます）
●主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、言語活動の充実を図るとともに必要に応じて少人数などの授業を行います。
●授業の先取りを行うのではなく、内容を深く掘り下げ、生徒の興味・関心を引き出す豊かな授業を進めます。そのため、探究力を育てることを目的としたＤＥＥＰ学習(P7参照)を展開します。
●生徒の学習意欲や思考力、判断力、表現力、そして探究力を高めるために、ＩＣＴを有効に活用していきます。

各教科の特色

国語 ～全教科等の基盤「言葉の力」を育てる授業の工夫～

●スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート・論文作成などの言語活動を通して、伝え合う力を高めます。
●文章や資料の内容を的確に読み取り、人間、自然、社会などについて自分の考えを深める活動を通して、思考力や想像力を養います。
●グループワークや発表などを通じて、互いの立場や考え方を尊重し、課題に対して協働的に取り組む態度を身に付けます。

社会 ～グローバル社会で生きる力を育てる授業の工夫～

●広い視野で社会的事象を捉え、情報を的確に分析し、多面的、多角的に考察する力を育てます。
●世界的規模の課題に関心を高め、物事を正確に捉え考察し、論理的に自分の考えを伝える力を養います。
●ディベートやグループワークを通じて他の人の考えを理解し受け入れ、協力して問題を解決する態度を身に付けます。

数学 ～数学的な見方・考え方を育てる授業の工夫～

●数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めます。
●数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めます。
●数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てます。

理科 ～自然科学への探究心を育てる授業の工夫～

●自然事象から問題を見いだして課題を設定し、観察や実験の計画から実施、結果の整理と考察までを主体的、協働的に行う態度を身に付けます。
●観察・実験や実習の機会を多く設定し、体験を伴う活動を通して技能を確実に身に付けさせ、自然事象に対する探究力を身に付けます。
●科学的な概念や観察・実験の結果についての発表や討論する場を充実させ、科学的な思考力や表現力を養います。

英語 ～４技能を総合的に活用するコミュニケーション能力の基礎を養い、異文化理解の態度を育てる授業の工夫～

●ペアやグループなどでの言語活動を通して、相手の立場や考え方を尊重して、相手の話を聞く力を育てます。
●スピーチやプレゼンテーションを通して、自分の考えなどを英語で筋道立てて話す力を高めます。
●社会科学や自然科学など、様々なジャンルの英文を読むことで、読む力を育てます。
●身近な話題について、自分の考えなどを筋道立てて書く力を高めます。

YSFJH の英語は FRUIT(S)

Fun	英語を楽しく
Repeat	何度も繰り返し
Unique	かけがえのない
I	私が主体的に
Trial & Error	間違いを恐れず
＋	
Science	をつけて成果を出す！

※fruit は s を付けると「果実」の意味となる

横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校　教育課程表

令和８年度の例

○数字は中学校は週の時間数、高校は単位数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
中学1年	国語⑤					社会③			数学⑤					理科④				音楽①.3		美術①.3	保健体育③			技術・家庭②		英語⑤					道徳①	サイエンススタディーズ①.4		学級活動①	フロンティアタイム②	
中学2年	国語⑤					社会③			数学⑤					理科④				音楽①		美術①	保健体育③			技術・家庭②		英語⑤					道徳①	サイエンススタディーズ②		学級活動①	フロンティアタイム②	
中学3年	国語⑤					社会④			数学⑤					理科④				音楽①		美術①	保健体育③			技術・家庭①		英語⑤					道徳①	サイエンススタディーズ②		学級活動①	フロンティアタイム②	
高校1年次	現代の国語②		言語文化③			地理総合②			理数数学Ⅰ⑥					理数物理②			理数化学②	理数生物②		理数情報②	芸術②		保健①	体育②		英語コミュニケーションⅠ④					OCPDⅠ※②		サイエンスリテラシーⅠ②		LHR①
高校2年次	論理国語②		古典探究③			歴史総合②		公共②	理数数学Ⅱ④					理数数学特論②			理数物理③ 理数化学③ 理数生物③ 理数地学③ 2科目選択				保健①		体育②	家庭基礎②		英語コミュニケーションⅡ④					OCPDⅡ※②		サイエンスリテラシーⅡ②		LHR①
高校3年次	論理国語②		理数数学Ⅲ③			体育③			コンプリヘンションスキルズ④					プロダクションスキルズ②																					LHR①

選択科目（最大 20 単位）
10 単位以上選択

- 理数数学探究④
- 理数数学研究②
- 理数物理④
- 理数化学④
- 理数生物④
- 理数地学④
- 理数物理探究④
- 理数化学探究④
- 理数生物探究④
- 理数地学探究④
- 理数物理研究②
- 理数化学研究②
- 理数生物研究②
- 理数地学研究②
- 理数情報研究②
- 現代文発展探究②
- 古典発展探究④
- 古典研究②
- 小論文研究②
- 地理探究④
- 日本史探究④
- 世界史探究④
- 倫理②
- 政治・経済②
- 英語構文探究②
- 英語構文研究②
- プラクティカル イングリッシュ②
- フードデザイン②
- サイエンス リテラシーⅢ②

※OCPD［Oral Communication for Presentation and Debate］：プレゼンテーションやディベートを行い、実践的な英語力を培う授業です。
さらに充実した教育課程にするために、変更の可能性もあります。

サイエンススタディーズ　総合的な学習の時間

＜育てる５つの力＞　◎読解力　◎情報活

中学１年

課題設定に向けて視野を広げる

●外部講師による講演や演習、校外学習
●個人による研究（1 人 1 テーマ）

テーマ決め
研究発表会（ポスター）

見　学

アドバイス

中学２年

研究の基礎を身に付ける

●多様な校外学習
●個人による研究（1 人 1 テーマ）

研究発表会
（ポスター・論文作成）

見　学

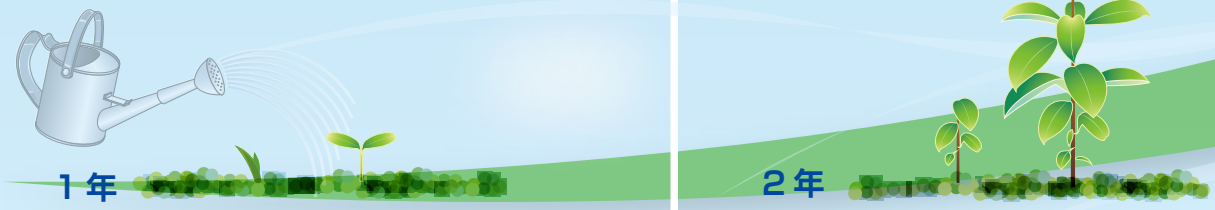
異学年交流を活発にし、**自由で創造的な研究に挑戦する**　（中学
外部の大会、学会などで発表　科学オリンピック　科学の甲子園ジュニア

より上を目指し、**コミュニケーシ**

好奇心のビックバンを起こそう

DEEP 学習
フロンティアタイム

高校でのサイエンスリテラ



校外研修について　「日本を知る」を共通テーマとする校外研修の実施

謙一サロン、課題探究講演会、城ヶ島フィールドワーク、京三製作所本社工場研修など

身のまわりの不思議に着目して、探究したい内容を探します。特別科学技術顧問との話し合いや特別講師の講演、校外研修でヒントを得ながら課題探究に取り組み始めサイエンスの見方、考え方を養っています。





宮古島研修、英語校外研修、JFE 訪問、AGC 訪問、ANA 機体工場訪問、東京農工大訪問など

「エコアイランド宮古島宣言 2.0」で SDGs に取り組んでいる宮古島で宿泊研修・フィールドワークを行い課題探究のテーマ設定に向けて大いに刺激を受けます。また、英語校外研修では留学生に英語で説明をしながら行うグループ散策を行い、コミュニケーション能力の向上、グローバルな視点を持つ機会としています。





用力　◎課題設定力　◎課題解決力　◎発表力

中学３年

コミュニケーション能力を高める

●チームによる共同研究（協働作業）

アドバイス

研究発表会
（プレゼンテーション・論文作成）

見　学

全校生徒の研究発表会 SSFes)
つくば Science Edge. など

ョン能力・課題解決力を育成する

シーのリーダーとして活躍



大学での
研究発表

３年

研修旅行、理化学研究所訪問など

歴史・文化に触れることができる関西方面で研修旅行を行います。その際に、大学の研究所や大学を訪問して、チームで進めてきた課題探究の発表を行い、指導を受けることを予定しています。





横浜サイエンスフロンティア高等学校

SSH〔スーパーサイエンスハイスクール〕の先端的な教育実践や研究

サイエンスリテラシー

課題探究型の授業。科学技術顧問でもある大学の先生や研究者の方々に直接指導していただき、「ほんもの体験」から生まれる好奇心が、高い学力を育てます。

アドバイス

高　校　生



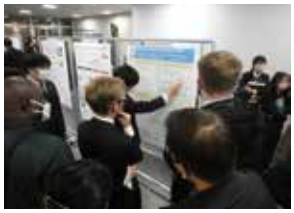
６年間で実れ!
ニュートンのリンゴのように
グローバルリーダーたる
サイエンスエリートの育成





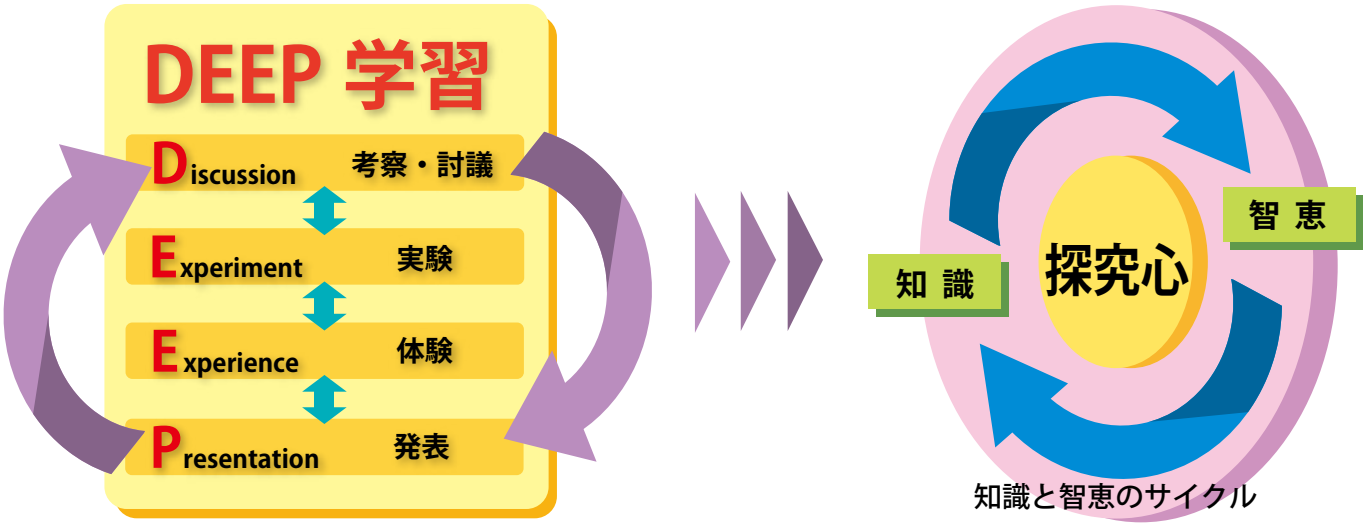
横浜 SGH
SGH ネットワーク
〔スーパーグローバルハイスクール〕の
グローバルリーダー育成

マレーシアの大学生との国際共同課題研究や、オーストラリア自然共生研修等のグローバル研修、英語での研究発表会 YSF-FIRST を通して、将来のグローバルリーダーの育成を図ります。





探究力を育てる DEEP 学習　～想像を超えるサイエンスで深い学びを～



附属中学校では、授業時間数増や高等学校入学者選抜を行わないことなどにより生じた時間的な余裕を使って、単に授業の先取りを行なうのではなく、内容を深く掘り下げ、生徒の興味・関心を引き出す豊かな授業を進めます。

物事を正確に捉えて考察し討議する「考察・討議」、仮説を立てて論理的に実証する「実験」、フィールドワークなど実体験から学ぶ「体験」、自分の考えや意見を正確に相手に伝える「発表」を授業に取り入れます。

DEEP 学習を進めることにより探究心を養うとともに、失敗を恐れず、最後まで粘り強く課題に取り組む姿勢を身に付けます。



フロンティアタイム　～夢への第一歩　FT で未来を開拓する～

フロンティアタイムは、興味・関心あるテーマを決め、主体的に自分自身を開拓するための時間です。

自主研究

自身の研究をよりよいものにするためにバディ (1～3 年生で構成されるチーム) で活動も行っています。
例えば
●植物の成長を調べたい
●プログラム開発などの創作活動を行いたい　など

読書活動

自分が興味・関心ある内容に関する読書をすることで、世界を広げます。
例えば
●持続可能な開発に関する本を読みたい
●寺田寅彦の本を読みたい
など

自分自身を開拓する時間

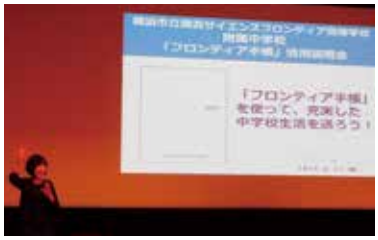
進路探究

自らの進路を探究する時間として使います。
例えば
●様々なテーマの講話を通して考え方を広げる
●企業や研究所での研修を行い、社会を支える職業への理解を深める
など

相談・面談

授業で疑問に思ったことなどの学習面や生活面についての相談・面談を行ないます。
例えば
●学習内容のことで先生に質問したい
●友人関係のことで先生に相談したい
など





1 日の生活　～日課表・中学校 1 年生 時間割例～

「少人数だからできる仲間との絆」「人の温かさを知るサイエンス」
一日の時間の流れは、高等学校の授業時間と同じです。
ノーチャイム制です。自分自身で時間を管理して生活します。


登校


朝の学活


英語の授業


家庭科の授業

			月	火	水	木	金
		8:30 までに登校					
		朝の学活 8:30 ～ 8:40（10 分）					
1 校時	8:45 ～ 9:35	50 分	道徳	数学	保健体育	英語	学級活動
2 校時	9:45 ～ 10:35	50 分	保健体育	音楽 / 美術	理科	保健体育	英語
3・4 校時	10:45 ～ 12:25	100 分	技術・家庭	理科	国語	国語	数学
		昼食・昼休み　12:25 ～ 13:10（45 分）					
5 校時	13:10 ～ 14:00	50 分	社会	国語	英語	理科	サイエンススタディーズ
6・7 校時	14:10 ～ 15:50	100 分	英語	美術 / 音楽	数学	社会	フロンティアタイム
		帰りの学活 15:55 ～ 16:05（10 分）					
		清掃 16:05 ～ 16:15（10 分）					
		放課後　委員会活動／研究活動／部活動／自習　　最終下校 18:00					


技術科の授業

100 分授業は 1 日 2 コマあります。
DEEP 学習 (考察・討議、実験、体験、発表) を積極的に取り入れます。


昼休み (図書室)


国語の授業


帰りの学活

サイエンススタディーズは、年間計画に基づき、通常の時間割以外にも実施する予定です。


放課後 (アリーナ)


放課後 (グラウンド)


放課後 (音楽室)


放課後 (委員会)

校舎について

横浜市立学校最大、総床面積 25,505 ㎡を誇る校舎は、直線的なデザインの学習棟とアーチ型の屋根が特徴的な交流棟から構成されています。PFI 事業により民間企業のアイデアを活用して設計・建築を行い、2008 年 12 月に竣工しました。明るく広い教室、様々な分野の実験室・実習室、天体観測ドームなどの充実した施設や 300 台以上の PC や電子顕微鏡などの実験機器が配置されており、「サイエンス」を学ぶのに適した学習環境を提供しています。

学習棟		交流棟
天体観測ドーム	屋上	
普通教室	5F	
普通教室	4F	
実験室・普通教室	3F	プール・宿泊室など
情報教室・特別教室	2F	アリーナ・保健講義室など
保健室・実験室・特別教室	1F	ホール・交流センター・柔剣道場・カフェテリアなど

学習棟

学習棟の 1 ～ 3 階には、先端科学技術の実験室や情報教室、プレゼンテーションスタジオなどの特別教室があります。普通教室は 3 ～ 5 階にあります。

1 階



分析室　大気・水・食品などを分析する装置があります。



ナノ材料創製室・評価室　10 億分の 1 メートルサイズの物質を研究できます。



電子顕微鏡室　ミクロの世界を立体的に拡大して観察できます。



和室

2 階



情報教室・プログラミング実習室・マルチメディア実習室　パソコンや AV 機器など充実した設備によって実習が行われます。



プレゼンテーションスタジオ　約 1.5 教室分の広い空間に、テーブルチェア、作業デスク、展示ボードが自由にレイアウトされた多目的学習空間です。AV 機器、プロジェクターなどの機器もあります。

屋上

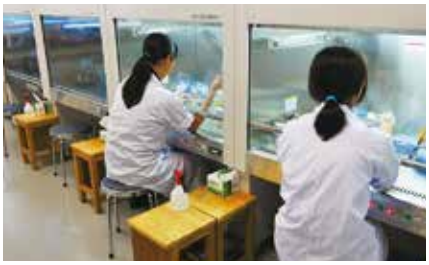


天体観測ドーム　大型天体望遠鏡で、星雲や星団などの天体を観測できます。

3 階



環境生命実験室　微生物や動物細胞を好適な環境で培養したり、培養した植物を自然環境に慣らすなどの実験が行われます。



クリーンベンチルーム



課題研究室　理科に関する様々な課題について、実験・実習が行われます。



生命科学実験室

未来を広げる学習棟　世界とつながる交流棟



交流棟

❶ 1 階には 370 人収容できる和田昭允記念ホール、柔道場・剣道場、カフェテリア（食堂）があります。
❷ 2 階にはアリーナがあります。各種スポーツや学校行事で使用します。
❸ 3 階には屋外プールや宿泊できる施設があります。

1 階

柔道場・剣道場



和田昭允
記念ホール





カフェテリア

2 階



アリーナ





リバービュー
ラウンジ

3 階

宿泊室



屋外プール





ランニング
コース

ニュートンのリンゴ



ニュートンが「万有引力の法則」を発見するきっかけとなった「リンゴの木」のクローンがあります。

メンデルのブドウ



メンデルの法則で有名なメンデルが植えた「ブドウの木」のクローンがあります。

「Nature」寄贈の月桂樹



イギリスの週刊科学誌「Nature」から寄贈された月桂樹です。



「Nature」に掲載された写真。(2009.7.9)

年間行事予定

4月 入学式　新入生オリエンテーション



中１　宿泊研修



中２　宮古島研修



5月 体育祭　三者面談



7月 １学期期末テスト

9月 蒼煌祭（文化祭）





10月 中２　Find Japan 英語校外研修

中３　研修旅行

三者面談



12月 ２学期期末テスト

3月 学年末テスト　卒業式　修了式

SSFes(サイエンススタディーズ発表会)



以上は予定です。また、校外活動の時期は今後、変更する可能性があります。高校生との合同の行事もあります。高校と同じ３学期制です。

校歌「知の開拓者」

作詞・作曲　オオゼキタク

川面に煌(きら)めくは 黄金(こがね)の朝陽
集いし我ら 知の開拓者
創る喜び 究める勇気
見つめるまなざしは深く

この横浜で 共に培い
世界の扉 拓いてゆく

友よ 磨き高めよう
涯(はて)なき未来を 輝かせるために

紺碧の潮風 翼に受けて
空翔けてゆく 鴎のように
遥か星々 母なる大地
芽生えたいのち 美しく

この横浜に 希望の光
世界に向けて 漲(みなぎ)る時

友よ 鍛え続けよう
若き情熱の 滾(たぎ)るがままに友よ 愛し育もう
この地球(ほし)の未来を輝かせるために

制服・校章

制服のポイント

高校生にアンケートを採り、中学生のネクタイとリボンの色を決めました。デザインは中高一緒です。





校章の由来

高校の校章を基調に、Junior High School の「J」を加え、高校との融合を表現しました。

スーパーアドバイザー・科学技術顧問について

横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校では、先端科学研究分野における優れた功績を有する方を、スーパーアドバイザーとしてお迎えし、教育方法などについて指導助言をいただいています。また、先端科学技術各分野の研究機関や大学、企業の研究者等の方々に科学技術顧問をお願いし、さまざまな形でご支援をいただいています。

「サイエンス」を楽しみ、自分を大きく育てよう

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校　常任スーパーアドバイザー
浅島　誠

横浜サイエンスフロンティア高校・附属中学校には素晴らしい理念と目標があります。そこにはサイエンスを楽しみながら、「日本の将来を支える思考力と感性の育成」「先端的な科学の知識・智恵・技術・技能を活用して、世界で幅広く活躍する人間の育成」などサイエンスエリートの教育と人材育成を掲げています。

サイエンスエリートとは校名のサイエンス（普通は科学と訳すが語源は知識・智恵でありそれを循環させる）とフロンティア精神をもって行動する人です。フロンティア精神を持つためにはサイエンスを身に付け、日本や世界の様々な分野で時代の先頭に立つ勇気と高い志・他者を感じる力が必要です。その為にはいろいろな事柄を見て興味を持ち、不思議だと思う好奇心、それについて観察し、自分で考え、計画し、判断し、まとめて、それらを発表することです。発表するときにはまとめる力とコミュニケーション力が必要です。

YSFJH にはサイエンスエリートを育成するためのカリキュラムや先生、設備などの環境が整っています。サイエンスエリートを育てるために重要な中高一貫教育があり、まさに皆さん自身が主役です。大いに自分を稔り豊かに育ててください。中学生が高校生の SSH の活動を見学したり研究のアドバイスを受けたり、サイエンスリテラシーや学園祭を一緒にできる大変に良い環境があります。サイエンスエリートに育つためには仲間もとても大切です。YSFJH には優れた生徒や先生、先輩、科学技術顧問、スーパーアドバイザーなどがいます。

このような素晴らしい仲間たちや優れた設備・施設は、エリートを育てる環境になっており、皆様方の入学を歓迎します。

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校の入学者の募集及び決定について

応募できる者

小学校等を卒業又は修了する見込みの者で志願者本人及びその保護者（親権者又は未成年後見人をいう。）が横浜市内に住所を有する者とする。

募集人員　80 名

出　　願　令和８年 12 月 21 日（月）～令和９年１月４日（月）までウェブにて受付

出願に要する書類

1. 入学願書
2. 在籍学校長の作成した調査書

出願書類は、令和９年１月５日（火）～１月７日（木）の間に横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校に簡易書留にて郵送する。

入学選考手数料

2,200 円

適性検査実施日

令和９年２月３日（水）

検査内容　**適性検査Ⅰ　45 分**

文章・図・表やデータなど与えられた資料を的確に読み解き、課題をとらえて適切に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ　45 分

与えられた情報を科学的・数理的にとらえ、分析力や思考力、判断力などを生かして課題を解決する力をみる。

持ち物　受検票　鉛筆　消しゴム

合格発表　令和９年２月 10 日（水）

ウェブにて発表

※詳しくは本校ホームページ掲載の「横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校の入学者の募集及び決定に関する要項」をご覧ください。

入学年度必要諸経費（令和８年度の例）

制服費用：約 60,000 円～ 70,000 円

体育着等：体育着・体育館履等　約 25,000 円

学校納入金（PTA 会費や学年諸経費等）：約 37,000 円

副教材費：約 30,000 円

1 年校外宿泊研修費：約 30,000 円

※授業料はありません。



横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校に関する Q&A

Q1 どんな部活動がありますか。

A1 令和８年度現在、13 の部活動で高校生と一緒に活動しています。（令和８年５月現在）
ただし、年度によって部活動の数が変更になることもあります。

Q2 高校生と一緒に活動することはありますか。

A2 同じ校舎で、また同じ時間割で生活します。行事や一部の部活動など、高校生と一緒に活動することで、よりよい関係づくりを進めます。

Q3 一般の中学校と学習内容は異なりますか。

A3 理数科高校の附属中学校ですが、学習する教科は一般の中学校と同じです。しかし、それぞれの教科では本校の教育理念にそって内容を深く掘り下げた学習を進めます。

Q4 自転車通学はできますか。

A4 附属中学校では、自転車通学は認めていません。徒歩または公共交通機関で通学してください。

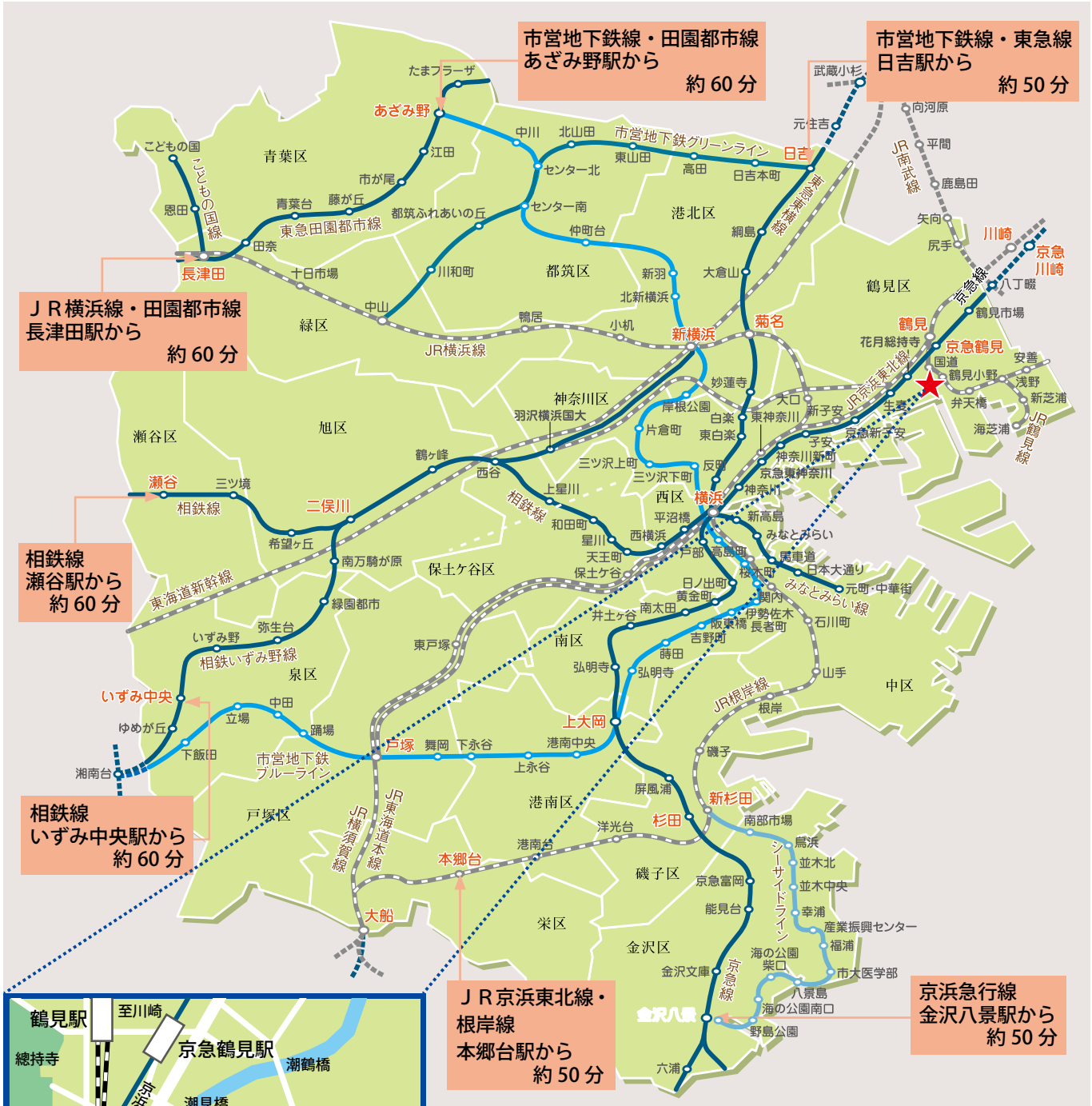
Q5 給食はありますか。

A5 あります。選択制デリバリー型の給食です。ご家庭の状況で選択をしてください。くわしくは「横浜市中学校給食サイト」でご確認ください。

Q6 附属中学校から、横浜サイエンスフロンティア高等学校へ進学するときには試験がありますか。

A6 中高一貫教育校であることから入学者選抜は行いません。

交通アクセス





横浜サイエンスフロンティア高等学校
附属中学校

＜主な最寄駅＞
- ＪＲ鶴見線鶴見小野駅から徒歩 3 分
- 京浜急行線花月総持寺駅から徒歩 17 分
- ＪＲ京浜東北線鶴見駅から徒歩 20 分

横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
令和 8 年 7 月発行
〒230 - 0046　横浜市鶴見区小野町 6 番地
TEL：045 - 511 - 3654　FAX：045 - 506 - 3680
横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校 で 検索